

「幼児教育指導者のための防災研修会」

1. 趣旨

前橋市国土強靱化地域計画の重点化施策の一つである「防災啓発・防災教育の推進」を目指し、保育現場における防災啓発及び防災教育を幼稚園教諭等の幼児教育指導者に対し実施しその充実を図る。また、実施にあたっては、BCP（事業継続計画）を考慮し実施する。

2. 事業の概要

(1) 期日

令和4年9月3日（土）～9月4日（日）【1泊2日】

(2) 参加者

- ①参加対象 幼稚園教諭及び認定こども園等の幼児教育指導者
- ②参加人数 17名

3. 企画運営のポイント

- ①実施にあたっては、一般社団法人群馬県私立幼稚園・認定こども園協会と連携・協力し、特に、参加者募集については、協会を通じて行う。
- ②防災の専門家である群馬大学大学院の金井昌信教授と連携、企画段階から内容の検討を金井先生と行い、BCP（事業継続計画）を考慮した内容とする。
- ③新型コロナウイルス感染症対策として、受付時・就寝前・起床時の検温、手洗い、マスクの着用など、基本的な感染症対策の徹底を図り、安心して研修に取り組める環境とする。

4. 日程

	午 前	午 後	夜
9月3日 (土)		【開講式】 【講義・演習】 「防災研修Ⅰ」 講師：群馬大学大学院 教授 金井昌信 氏	【情報交換】
9月4日 (日)	【講義・演習】 「防災研修Ⅱ」 講師：群馬大学大学院 教授 金井昌信 氏	【説明】 「ササビー広場で 遊ぼう！」 説明：国立赤城青少年 交流の家職員 福岡公平 【閉講式】	

5. 主な活動内容



「防災研修Ⅰ・Ⅱ」



「情報交換」



「ササビー広場で遊ぼう」

6. 成果と課題

(1) 参加者アンケート結果

事業全体：満足 15 名（100%）

(2) 参加者の声

- ・ 普段から防災について様々な視点から考えておく必要があると思った。特に、避難後の対応について考えたことがなかったので、園全体で共有して考えていかなければならないと実感した。
- ・ 防災について今まで教えられてきたお手本だけでなく、現実に見合った対応がいくつも紹介されていてよかった。
- ・ 防災に関する基礎的な情報（国）を基に、説明していたので分かりやすかった。
- ・ 生活を一変させてしまう災害は発生してから対応するのでは遅いので、いざ災害が発生した時に適切に対応できるように研修内容を生かしたい。
- ・ いつ自分たちの身に起こるか分からない災害について改めて園や家庭でも見直していく必要がある。

(3) 成果

- ①今年度、新規事業として実施した事業であったが、一般社団法人群馬県私立幼稚園・認定こども園協会及び群馬大学大学院金井教授との連携により、参加者からの満足度も高く、中身の濃い充実した研修を実施することができた。
- ②研修会の後半では、「ササビー広場で遊ぼう！」という時間を設け、当施設の幼児向けの運動遊びの場を紹介することで、研修支援の利用につなげる広報をすることができた。

(4) 課題

- ・ 事業実施にあたり、日程候補日や対象の設定、広報、参加者の募集等、連携協力団体である一般社団法人群馬県私立幼稚園・認定こども園協会を通じて行ったが、募集人数を下回る参加者となった。来年度以降の実施にあたっては、日程や対象の設定を含め、入念な事前打ち合わせを行う必要がある。

担当：主幹兼事業推進係長 福岡 公平